

4. 連携システムの概要

1. CKD、糖尿病と診断されたすべての患者をかかりつけ医に受診勧奨

CKDは軽度であっても年齢を問わず心血管病のリスク因子であり、CKDが進行すればするほど腎機能はさらに低下します（参考資料②-5）。CKDの三大原疾患は 糖尿病、腎硬化症、慢性糸球体腎炎ですが、CKDに共通する悪化のリスク因子として、高血圧・脂質異常・高尿酸血症・喫煙・肥満・貧血 などが知られています。CKDへの介入、リスク因子への介入は早期から行う必要があるため、 $eGFR < 60$ 、または尿異常のあるすべてのCKD患者を、自治体よりかかりつけ医へ受診勧奨します。

また、糖尿病は透析導入の原因疾患 1 位であり、重症化予防の取り組みとして早期発見・早期治療が強く求められます。糖尿病合併症の初発の 1 つは蛋白尿（アルブミン尿）であり、尿検査を繰り返すことが重要です。当システムでは、糖尿病型（ $HbA1c \geq 6.5\%$ ）のすべての患者を、自治体よりかかりつけ医へ受診勧奨します。

各自治体からかかりつけ医への受診勧奨は、健診の結果説明会や、結果を郵送する際に、【様式 1】を用いて受診の必要性を説明します。併せて、【様式 2】【様式 3】【様式（結果説明）】を患者さんにお渡しします。かかりつけ医のない場合は、別表「協力医療機関一覧」から一次医療機関への受診を促します。

2. CKD患者のうち、ハイリスク群を腎専門医へ紹介

かかりつけ医を受診された患者さんには、血液検査、尿検査を再検査していただき、以下の基準のいずれかに該当する場合は、腎臓専門医への紹介をお願いします。

- ☐ $eGFR < 45$
- ☐ 尿蛋白（1+）以上
- ☐ 尿蛋白（±）で、尿潜血（1+）以上
- ☐ 尿蛋白（±）で、 $eGFR < 60$

CKDのなかでも、例えば尿異常のあるものの中には腎生検を行い診断が確定すれば治癒の望める疾患もあります。また、CKDの三大原疾患は 糖尿病、腎硬化症、慢性糸球体腎炎ですが、原疾患を推定したうえで治療方針を考えることによって、より有効なCKD重症化予防を図ることができます。

当連携システムでは、日本腎臓学会の定める腎臓専門医紹介基準を採用しています。CKDヒートマップ（参考資料①-2）のオレンジ・赤 を腎臓専門医紹介対象とし、尿蛋白は（±）でも有意な所見と判断します。

腎臓専門外来では、エコーや尿蛋白定量などを行い、必要な患者には腎生検を勧めます。また、薬剤調整などの提案、栄養指導、生活指導を行い、多くはかかりつけ医に逆紹介します（2020年度：逆紹介 60%、併診 29%）。

3. 糖尿病患者のうち、早期腎症（疑い）を糖尿病専門医へ紹介

かかりつけ医を受診した患者さんが糖尿病（HbA1c $\geq$ 6.5%）であった場合は、検尿を再検査してください。もっとも推奨されるのは「尿アルブミン定量（UACR＝尿アルブミン/尿クレアチニン比）」ですが、尿定性でも構いません。以下の結果であった場合、早期腎症（微量アルブミン期＝腎症2期）として、糖尿病専門医へ紹介をお願いします。

- ☐ 尿蛋白（±） ... 早期腎症の疑い
- ☐ UACR 30～300 ... 早期腎症（確定）

糖尿病性腎症は、本邦の透析導入原因疾患の第一位（44%）であるだけでなく、微小血管合併症（しめじ：神経症、眼症、腎症）、大血管合併症（えのき：壊疽、脳卒中、虚血性心疾患）が同時に進行していきます。微量アルブミン尿は合併症のなかでも早期に現れる指標となり、かつ、多面的治療により消失しうることから（参考資料③-8）、治療経過の指標としても非常に重要です。

これまでのところ、当システムで専門医へ紹介となった患者のうち糖尿病性腎症は全体の12～16%に留まっており（2018～2020年度）、2020年度から糖尿病専門医への紹介が可能となってからも、糖尿病専門医への紹介はわずかです。糖尿病患者の尿所見を注視いただけると幸いです。

4. 二次医療機関への紹介

当連携システムは、一次医療機関（かかりつけ医）として 60 以上の医療機関に協力を頂いており、二次医療機関（専門医）には以下の3病院が各医療機関からの紹介を受けております。連絡票＝【様式2】に再検査結果を記入し各病院の連携室へFAX送信してください。患者さんには紹介状（診療情報提供書）＝【様式3】と、検査結果等を同封し患者さんに渡してください。

専門医へ紹介が不要の場合は、記載した【様式2】を自治体に郵送してください。

連携の詳しい内容については、後述の「5. フローチャート」「6. 連絡の流れ」をご参照ください。

専門領域	二次医療機関	新患日
腎臓	田川市立病院	月、水、木、金
糖尿病	田川市立病院 社会保険田川病院 (社医)療仕会 松本病院	木 金 金（第2,3,4）、土（第1）